



～年末の大掃除の前に～

# ごみの減量大作戦！

ことしも残すところあとわずか。掃除が好きな人も、少し面倒くさいと思っている人も、家や部屋をきれいにして気持ちよく新年を迎えるために、年末の大掃除は欠かせません。大掃除でたくさんのごみを出す前に、ごみを減らす方法について考えてみましょう。

環境下水道課 ☎ 0 5 3 7 ⑤ 1 1 6 2

## 御前崎市の「ごみ事情」

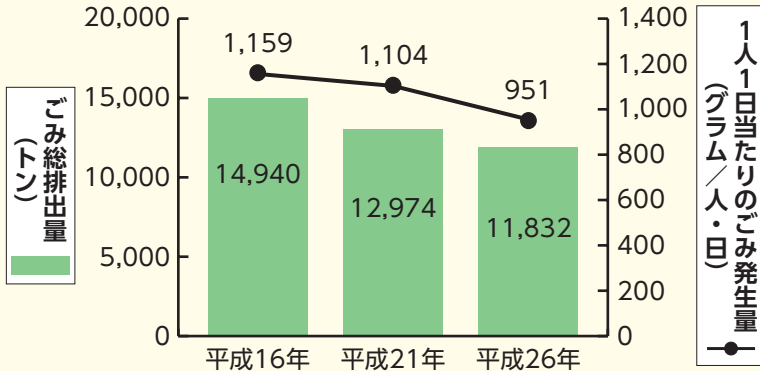
私たちが生活する上で、ごみは必ず出てきます。御前崎市では、平成26年度に1万1832トンのごみが排出されており、10年前と比べて排出量は減少しているものの、市民1人当たりでは毎日951グラムのごみを排出したことになります。

ごみの処理には、運営費や人件費など多額な経費がかかります。平成26年度の市負担金は4億2276万3000円、

市民1人当たりになると年間1万2936円の負担となりました。また、ごみを焼却すると地球温暖化の原因となる二酸化炭素が排出され、環境問題の深刻化につながります。ずっと暮らしていく環境を守るためにもごみの減量は欠かせません。

ごみを減らして暮らしやすいまちにするために、一人一人が実行できる減量方法を考えてみませんか。

〈ごみ総排出量と1人1日当たりのごみ発生量〉



市では、平成30年までに1人が1日に出すごみの量を、今より88グラム減らすことを目標としています。ごみは税金で処理されているため、減量して処理費用を削減すると、削減分は教育や福祉事業などさまざまな分野へ活用できます。一人一人がごみを少し減らすだけでも大幅な減量につながるのです。日頃からごみの減量にご協力をお願いします。

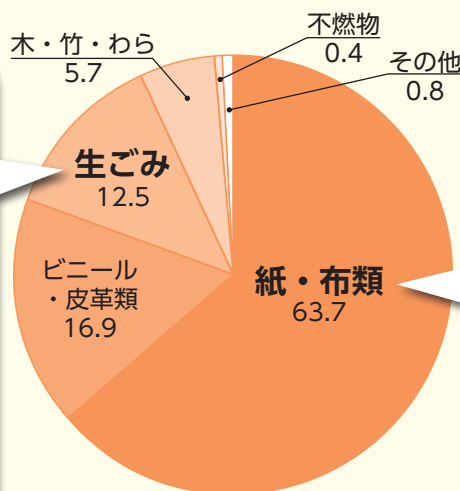


環境下水道課 齋藤大輔 主査

排出されたごみのうち、約80%を占めているのは「可燃ごみ」。その多くはリサイクルできる雑誌・雑紙や布類、分別すれば資源になるビニール、皮革類、多くの水分を含む生ごみです。

ごみの80%は「燃えるごみ」だった！

生ごみの70～80%は水分です。この水分を減らすことで簡単に減量でき、悪臭や腐敗も防げます。捨てる前に一絞りして水切りしたり、生ごみ処理機を利用して堆肥にしたりして、水分を減らしてから捨てましょう。



〈平成26年度可燃ごみの割合 (%)〉  
(御前崎市と牧之原市(旧相良町)の合算値)

紙ごみのうち、雑紙はリサイクルできます。捨てる前にきちんと分けて、ごみの減量につなげましょう。

### ◆◆ こんなものが雑紙です ◆◆

食品の紙箱、メモ用紙、紙袋、パンフレット、カレンダー、トイレトーパーの芯、はがき、封筒 など



◀ ティッシュペーパーの箱も、ビニール部分を取れば雑紙としてリサイクルできます。